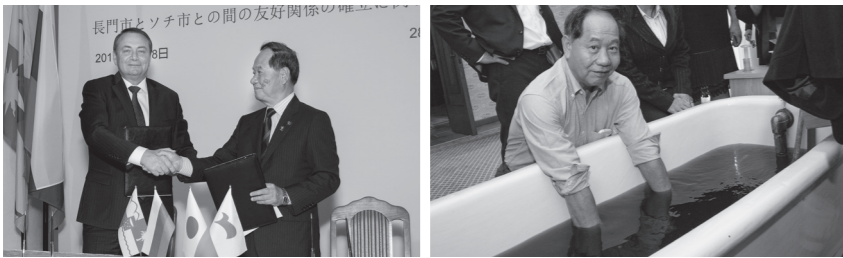




市政初の姉妹都市協定締結

ソチ市との 交流が本格的にスタート

企画政策課世界大会等キャンプ招致室 TEL 23-1196



(写真上) ソチ市役所を表敬訪問 (写真中左) 協定を結び、しっかりと握手を交わす両市長 (写真中右) マツエスタ温泉の硫黄水に手を浸けるとしっとりした感じに (下左・下右) やきとりワークショップを開催。現地の学生がやきとりを調理

温泉療法が発達した マツエスタ温泉を視察

硫黄水泉で有名なマツエスタは、全国的な保養地としてロシア国内から多くの人が訪れています。硫化水素を成分とする温泉は循環器系、神経系、筋骨格系、鼻咽頭系、肌、神経内分泌、不調、婦人科疾患などの慢性疾患の治療に使われています。

療院を訪れ、浴槽に手を浸けたり、飲用の温泉水を飲んだりして、効能を体感しました。マツエスタ温泉の温泉治療院には100を超える浴槽があり、医者の方箋がないと温泉に入れないそうで、専門の医者が付き添いながら治療を行っています。

マツエスタ温泉には温泉療法に関する長い研究の歴史があり、長門市も温泉療法の活用について学ぶべきところが多くあります。

長門市は、平成28年12月に長門市で開催された日露首脳会談をきっかけにロシア連邦クラスノダール地方ソチ市との交流を深めてきましたが、このたびは大西市長をはじめとする長門市訪問団がソチ市を訪れ、9月28日(金)に姉妹都市協定(長門市とソチ市との間の友好関係の確立に関する合意書)を締結しました。

大歓迎を受けた長門市訪問団

9月27日(木)から10月2日(火)の日程でソチ市を訪れた長門市訪問団は、降り立った空港からソチ市役所庁舎前、マツエスタ温泉など訪問する先々で、日本とロシア両国の国旗や長門市とソチ市両市の市旗を掲げたソチ市民から温かい歓迎を受けました。

訪問団一行はソチ市役所を表敬訪問した後、現地時間の17時に調印式会場となるジームヌイテートル(冬劇場)に移動、ソチ市のアナトリー・パホモフ市長と大西市長が「長門市とソチ市との間の友好関係の確立に関する合意書」に署名し、姉妹都市としての協定を結びました。

教育や文化、観光などの分野 で友好的な関係を築くことに

合意書では、教育や文化、スポーツ、観光、保健などあらゆる分野での協力および友好的なパートナーシップ関係を構築し、お互いの市の理解と連携を

深め、双方のさらなる発展につなげることをされています。

調印式を終え、大西市長は「昨年末の共同声明発表を経て、今回正式に締結した姉妹都市協定が今後の両市の発展と繁栄に寄与することを期待します。今年は両国政府間により『日本におけるロシア年』、また『ロシアにおける日本年』と位置づけられており、その記念すべき年に締結した、市政初となる姉妹都市協定を今後実りの多いものにしていきたい」とコメント。

また、ソチ市のパホモフ市長は「ロシアと日本の両国の間でのさらなる信頼関係を構築する上で、非常に重要なステップであると考えています。昨年12月に我々ソチ市代表団が長門市へ訪問した際、市民のみなさんにとっても温かく出迎えていただきました。改めてお礼を述べます。合意書への調印は多くの領域で高い水準で広範囲な協力関係の基礎を構築できると考えており、姉妹都市締結はロシアの人々にも興味があることで、我々はそれを誇りに思います」と述べました。

ソチ市民も虜に やきとりワークショップ開催

昨年、ソチ市訪問団が長門市を訪れた際に食べた「やきとり」と「唐揚げ」が大好評で、ソチ市で振る舞ってほしいとの希望があり、現地で「やきとりワークショップ」が開催されました。

ワークショップに参加したのはソチ市の調理専門学校に通う学生らで、全国やきとり連絡協議会理事の青村雅子さんから串の打ち方から焼き方までを習ったほか、唐揚げの調理法も学び、実践しました。調理されたやきとりと唐揚げは、学生らのほか、パホモフ市長やソチ市議会議長などにも振る舞われ

これからの交流に向けて お互いを理解し合うこと

両国の市民レベルでの交流に向けて、まずはお互いのことを理解し合うことが重要です。映像などを通じて、さまざまな情報を交換しあい、お互いの文化や生活を理解していく中で、人的交流や文化の交流につなげていくこととなります。

また、温泉など共通する資源を活用した観光面での交流も深めていく予定です。

長門市(日本)とソチ市(ロシア連邦)との間の友好関係の確立に関する合意書

1. 教育・文化・スポーツ・青年政策・観光・保健・都市経済分野での協力を発展させること
2. 両市の青年・文化・創作・スポーツ・教育及び学術団体間での、また、保健及び観光団体間での直接の友好的なパートナー関係の構築を促進すること
3. プロフェッショナルやアマチュアの創作団体、スポーツチーム、観光団体間の、また、地方自治体の代表団間の交流を支援すること
4. マスメディアや長門市・ソチ市の公式インターネットサイト上で、長門市・ソチ市における文化・伝統・現代生活・経済成果の特色や、生じた出来事について広報することを通じて、長門市民の側でソチ市のポジティブなイメージの、また、ソチ市民の側での長門市のポジティブなイメージの形成を支援すること
5. 長門市在住のロシア国民、及びソチ市在住の日本国民による文化や歴史理解への相互的関心の発展を支援すること



ソチ市訪問 フォトレポート

～ Photo Report ～

(写真右上)「日本とロシアの友情の庭園」で行われた記念植樹
(写真右下)記念品の交換。長門市からソチ市へ萩焼が贈られた
(写真左)パホモフ市長の案内でソチスポーツ栄光博物館を見学



(写真右上) 姉妹都市協定の締結が行われた「冬劇場」
(写真中) リーダーズフォーラムに参加し、長門市をPR
(写真左上) ソチ空港でお出迎え
(写真左下) ソチ市の南側は海に面した温暖なリゾート地



(写真右) マスの養殖場を視察
(写真中上) 標高 2320m にある山のリゾート
(写真中下) オリンピックパーク
(写真左) マツエスタ温泉で火山温泉を動画で紹介



▲コロッケの中央に描かれた両市旗を見せる児童

10月2日(火)、市内の小中学校でソチ市、長門市両市の市旗を描いたコロッケが学校給食に登場しました。
この学校給食は、市政初の姉妹都市協定を締結したことを市内の児童・生徒に広く知ってもらうことを目的に企画されたものです。
明倫小学校では、給食の開始前に栄養教諭の河村あやさんが、ロシアの民芸人形マトリョーシカやソチ市の写真を見せながらソチ市を紹介。給食が始まると、児童らはコロッケに描かれた市旗を囲むように大事に食べていました。

はなも交流のこ形でソチ市と長門市の市旗を描いたコロッケが登場

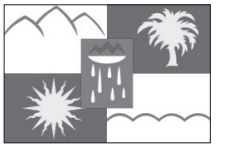


ソチ市って どんなまち？

～ Explore Sochi city! ～

ソチ市 (Сочи)

建設 1832年
面積 3,502 km²
人口 約45万人
最高気温 39.4℃
最低気温 -13.4℃
平均気温 18.4℃



▲ソチ市市旗

ソチ市の概要

ソチ市はロシア連邦南部の黒海沿いに約150km近く伸びた、人口約45万人のロシア最大のリゾート地です。
北はコーカサス山脈の山並みを背にしていることから、ロシア全体を覆う寒気から遮られ、海岸部は冬でも温暖な気候に恵まれています。2014年冬季オリンピック・パラリンピックやサッカーW杯ロシア大会(予選準々決勝)、F1ロシアグランプリの開催都市でもあります。
また、温泉療法や茶園で有名なマツエスタ温泉、山岳リゾート地区「クラスナヤ・ポリャーナ」といった観光地には、国内はもとよりヨーロッパや世界各国から観光客が訪れる。



<ソチへの主な渡航方法>
東京→モスクワ、または福岡→仁川→モスクワ(約10時間)
モスクワ→ソチ(約2時間30分)

観光都市であるソチ市では、オリンピック開催のレガシーとしてスポーツやアクティビティの充実が注がれており、さまざまな世界大会が開催されています。
オリンピック後から人口が急増しており、今まさにロシア国内で最も発展している都市です。

山と海に恵まれた ロシア最大のリゾート地

ソチ市の東部に位置する「クラスナヤ・ポリャーナ」は2014冬季オリ



ンピックの雪上競技の会場として知られ、現在はホテルやスポーツ施設、娯楽施設が充実した国内屈指のスキーリゾートです。標高2320mの山のリゾート地はオリンピックのレガシーとして今でも多くの大会が開催されています。

南西部に位置する沿岸エリアは黒海に面し、オリンピックのスケート会場などで使用されたオリンピックパークや、クルーズ船やヨットが入港するマリナーや6キロの長さの砂浜で海水浴ができるビーチなどがある温暖な気候の海のリゾートです。

